

谷戸の風

処暑

山内 静夫

四十度三分一そんな気温がきり気なく新聞の紙面に踊るようになってから、かれこれ一月近く過ぎてしまったか。今年の夏の気温の高さは、全く前例がないのではないかと。これが今年だけのことなのか、今後日本の気象は次第にこんな風に温暖化して行くのか、余生がそれ程ある訳でもない私などが気にするところでないのかもしれないが...

今年は別に特に意図した訳ではないが、午前中何となくテレビをつけて、高校野球をやっているところのまきりきこまれてしまふ、夕方まで見つけつけて



木版画 藤本宿

意のようなものが、私には、勝敗の点数の結果などをほめるか越えて深くの中に刻みこまれた。高校野球のことを知らない、唯、私は今年のこの暑さの中にスックと立つ若者の雄々しき姿を蒸れ返るような熱い空気のかたに似たような気がした。

残念なことが一つあった。私の母校につながる神奈川の代表であった慶應高校の戦いぶりには注文をつけた。敗けたのは仕方ない。然し、

八雲神社行合祭

神輿ご懐妊 さらしの腹帯

鎌倉・山内八雲神社例大祭の神幸祭が7月22日行われ、炎暑の中、大勢の見物客が見守った行合祭も呼ばれ、山



神輿ご懐妊 さらしの腹帯

ノ内の男神輿は円覚寺・建長寺などの寺を巡った後、北鎌倉駅前で山崎八雲神社の女神輿と合流。2基の神輿は、光昭寺付近の天王屋敷まで渡御すると、そこで出合い神事が行われ、身ももった山崎の神輿にさらしの腹帯が巻かれて戻っていく。

編岡八幡宮で8月6日から9日の4日間ぼんぼり祭が開かれた二写真は松原省吾撮影。1938年(昭和13)からはじめられ、今年80回目。鎌倉近在の著名人から寄せられた約400基の書画がぼんぼりに仕立てられて境内に掲揚され、夕刻に

夏の風物詩 ぼんぼり祭

なるど灯りがともされた。画家や禅僧らの書画のほか、歌舞伎役者中村吉右衛門さん、解剖学者養老孟司さんなどの作品が並べられ目を楽しました。土田直敏さんの大相撲初優勝の御嶽海、さかなクンの大漁の絵などの前で記念写真を撮る人も。



夏の風物詩 ぼんぼり祭

小学生が伝統文化を体験 鎌倉で日本舞踊教室

次代を担う子供たちに日本の伝統文化を体験できる機会を提供する文化庁の嘱託で「かまくら日本舞踊親子教室」が7月20日発に浴衣姿で整列し、正座発表会で保護者たちの前に着て帯を結び、挨拶物をつけて子供たちは、

教室修了後もサークルに入って稽古を続けている12期生や、期生も日ごの成果を披露。西川さんは「親子で日本文化に親しんでいたことが大事」と話していた。



小学生が地元で夏休み勉強会

小学生が地元で夏休み勉強会

「夏休み小学生勉強会」が鎌倉市材木座の材木座公民館で7月23〜25日の3日間午前9時〜夕方まで行われ、地域の子どもたち延べ約300人が参加した二写真。

材木座地区社会福祉協議会(三輪祐弘会長)が2007年から行っている催しで、今年12回目。同自治連合会、市立第一

小学校校外委員の保護者、第一中学校の理科部・図工部から約150人が協力した。

子どもたちはおもてで材木をノコギリでひいたり、釘を打ちつけたりしてイスやテーブルなどを作る作業に熱中。大人も電気ノコギリで木材を切るなどして工作に加勢した。室内では宿題をしたり、神社に奉納するぼんぼりに絵を描いたりしていた。三輪会長は「地域の世代交流の場となっている。今年は特に熱中症対策に気を配っている」と話していた。

最終の棲み家を考える(3)本物の木の味わい同じ住宅でも、ハウスメーカーやプレハブ会社が作る家が在来工法で造られた家とはまるで違います。ところが「木」が使われていないヒノキや杉を使います。床柱や床板にも趣のあるものを残します。梁は粘り強い、気候の変化や圧力で絶対割れないと保証されたものではないかもしれません。

昔ながらの工法で建てられた家は、『木』の特性を生かし使われています。例えば、土台には湿気や水に強いヒバが使われ、特に風呂場やトイレ、勝手には『栗』が使われます。柱は杉やヒノキ、ケヤキ等が使われ、色合いや文様を考え使い分けをします。また『木』には、節がありますが、間取りを見ながら、化学ノリで造る家と決別するの今です。

「日向建設 鎌倉市大船1-15-3 0467-47-5454 http://www.hiyuga.co.jp」

文学つれづれ

閑話休題「玉繩」と新陰流

赤羽 根龍 夫

私は玉繩すこやかセンタールでこの5、6年、文学作品を脳細胞の活性化のために、皆で3、4行ずつ声を出して読んでいます。最近はお石が中心で「坊ちゃん」「三四郎」に続いて10月から漱石の純愛・不倫小説「それから」を取り上げます。玉繩は鎌倉でも特異な文化的土地柄です。鎌倉といつと鎌倉時代の執権

北条氏が有名ですが、戦国時代に相模一体を支配したのが北条早雲に始まる後北条氏です。早雲一氏綱、氏康、氏政、氏直と、小田原城が1590年秀吉に攻められるまで五代続きます。1513年、早雲は鎌倉の玉繩に玉繩城を作り

「剣聖」と言われる上東伊勢守信綱です。信綱は群馬県大胡(前橋市)に生まれましたが先祖は京の名門貴族です。父は大胡城主で、21歳で従五位下伊勢守となった信綱は、扇力谷上杉氏の子孫で、早雲以前の

この時代、関東平野は足利将軍に派遣された関東公方とその執事である東条氏康に攻められ落城し、信綱は上杉方の武将として戦場を駆け巡り、信玄の許しを得て新陰流を伝えるために京にのぼります。

信綱は京に出る途中で、1551年、相模(神奈川県)の北条氏康が関



柳生新陰流演武(右・著者) 2009年日本武道館

網の子・為昌、氏綱の娘

新陰流を創始したのは

信綱は30代で念流・新流を創始しました。やがて信綱の剣名は北条家の

東管領・上杉憲政を攻め、憲政が越後(新潟県)の長尾景虎(上杉謙信)に救いを求めたことから、関東平野は相模の武田の三つ巴の戦場となりました。上泉城は北条氏康に攻められ落城し、信綱は上杉方の武将として戦場を駆け巡り、信玄の許しを得て新陰流を伝えるために京にのぼります。

北条家には在りて卒す。新陰流は玉繩城主・綱成を通して鎌倉に伝わり、玉繩城主(神奈川歯科大名誉教授)

究極の寝室

人様の家を建てることは、人様の生命を守ることに

山の恵み、森の恵み、土の恵み、海の恵み

seiko

清興建設株式会社 Tel.0467-24-3700